

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和6年3月分:速報)

<対世界>

- 輸出総額:1兆902億円(伸率:+11.7%) ⇒ 23か月連続のプラス
 - ・順位:3位、3月としては1位
 - 【順位は、昭和54(1979)年1月以降(543か月、3月は46か月)による。以下同じ。】
 - ・増加品目:自動車(同+18.3%)、半導体等電子部品(同+27.9%)
- 輸入総額:9,550億円(伸率:+2.4%) ⇒ 2か月連続のプラス
 - ・順位:12位、3月としては1位
 - ・増加品目:半導体等電子部品(同+88.0%)、液化天然ガス(同+63.9%)
- 差引額:1,352億円(伸率:3.1倍) ⇒ 2か月連続の輸出超過
 - ・順位:49位、3月としては6位
 - 為替レート:2024年3月:149.45円/ドル(2023年3月:134.97円/ドルと比べ10.7%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(2,182億円→2,581億円、伸率:+18.3%)は、中国(149億円→616億円、同4.1倍)及びアラブ首長国連邦(147億円→260億円、同+77.2%)向けが増加し、14か月連続のプラスとなった。

また、半導体等電子部品(1,141億円→1,459億円、同+27.9%)は、ベトナム(173億円→401億円、同2.3倍)及び香港(251億円→357億円、同+41.9%)向けが増加し、6か月連続のプラスとなった。

一方、石油製品(151億円→18億円、同▲88.0%)は、メキシコ(46億円→2千万円、同▲99.7%)及びオーストラリア(41億円→7百万円、同▲99.8%)向けが減少し、11か月連続のマイナスとなった。

○輸入

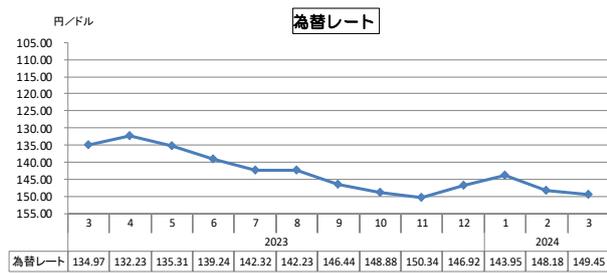
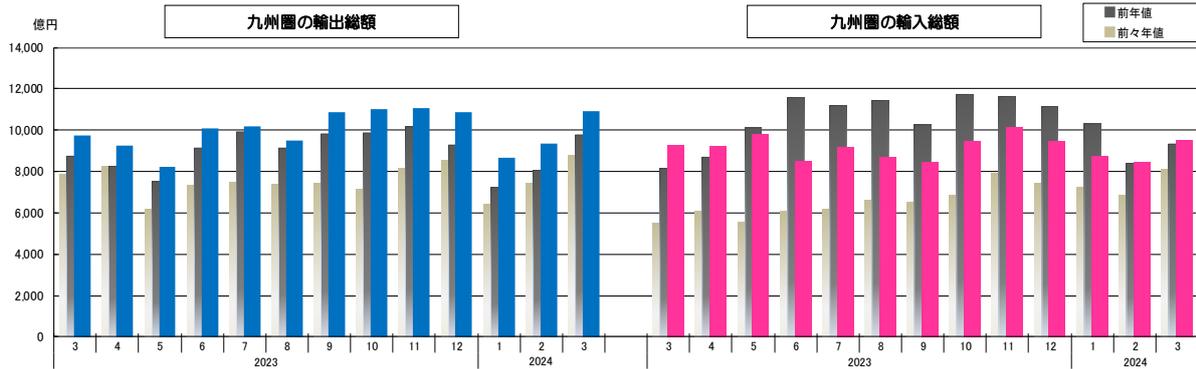
半導体等電子部品(372億円→699億円、伸率:+88.0%)は、台湾(269億円→594億円、同2.2倍)及び中国(52億円→62億円、同+20.5%)からが増加し、5か月ぶりのプラスとなった。

また、液化天然ガス(28万MT→52万MT、同+83.7%、297億円→486億円、同+63.9%)は、数量、価額ともに増加し、11か月ぶりのプラスとなった。

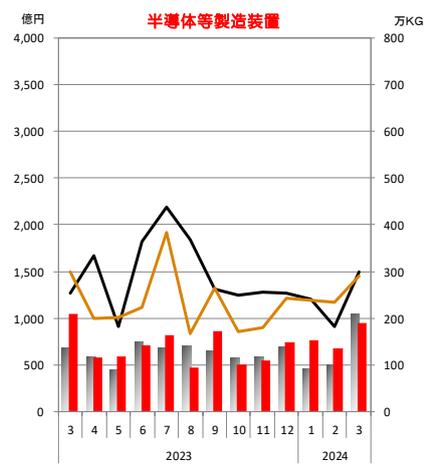
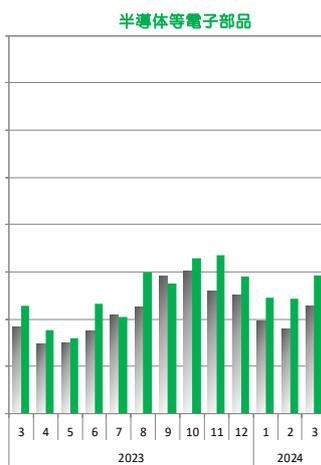
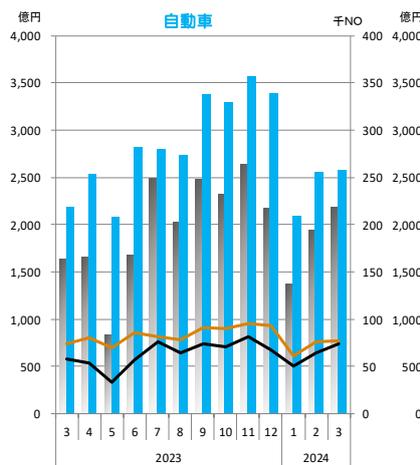
一方、石炭(304万MT→299万MT、同▲1.7%、1,199億円→889億円、同▲25.9%)は、数量、価額ともに減少し、11か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

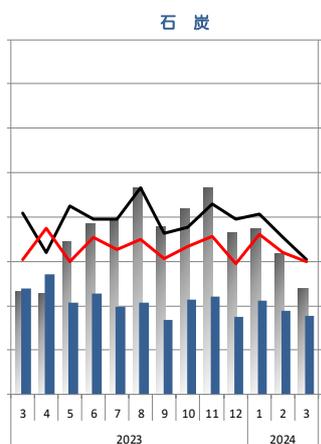
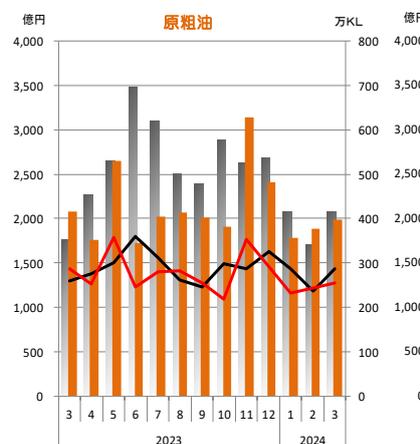
令和6年3月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。